

BIG-IP Edge Client ソフトウェアの脆弱性について(CVE-2013-6024)

F5 Networks 社製 BIG-IP 製品に含まれる SSL-VPN 接続用クライアント・ソフトウェア Edge Client の脆弱性についてのご連絡になります。

【1】内容

Edge Client ソフトウェアのメモリーから情報漏洩の脆弱性が存在します。

【2】対象

影響を受ける可能性ある製品・ソフトウェアバージョンは以下になります。

製品名	バージョン
BIG-IP APM	v11.0.0 - v11.4.1 v10.0.0 - v10.2.4
BIG-IP Edge Gateway	v11.0.0 - v11.4.1 v10.1.0 - v10.2.4
FirePass	v7.0.0 v6.0.0 - 6.1.0

BIG-IP/FirePass 本体側の脆弱性ではなく、SSL-VPN 接続するクライアント側である Edge Client コンポーネントに内在する脆弱性になります。

※本問題は、ブラウザから SSL-VPN 接続されているお客様には該当しません。SSL-VPN 接続用クライアントソフトウェア Edge Client を利用しているお客様にのみ該当する問題になります。

【3】対策

BIG-IP 本体バージョンを、v11.5.0 へアップグレードすることにより、本問題を対策できます。本体側のバージョンアップにより、Edge Client が次回 SSL-VPN 接続時に修正されたクライアント・コンポーネントに自動アップデートされます。

※FirePass は販売終了/開発終了製品になっておりますので、クライアント・コンポーネントの修正はできません。(対策バージョンなし)

※参考情報

- SOL14969: BIG-IP Edge Client information leakage vulnerability CVE-2013-6024
<http://support.f5.com/kb/en-us/solutions/public/14000/900/sol14969.html>
- CVE (Common Vulnerabilities and Exposures) CVE-2013-6024
<http://www.cve.mitre.org/cgi-bin/cvename.cgi?name=2013-6024>
- JVN (Japan Vulnerability Notes) JNVNU#97826082
<http://jvn.jp/vu/JNVNU97826082/index.html>